
開講科目名：税務会計研究（B）（2単位）

開設年次：1年 2年

開設学部：会計学研究科博士前期課程 会計学研究科博士前期課程会計学専攻

担当者：永田 千香

《授業の概要》

【授業の目標】納税者の高度なタックスプランニングに貢献できる基礎理論力の強化を目標とします。

【授業の概要】

本講義では、理論と実務の両面から、税務会計の目的である課税の基準となる課税所得の計算や、課税価額の評価を目的とする会計を研究します。理論の面では、企業会計と課税所得の計算との差異を中心に考察し、実務の面では、税制改正や時事問題等を適宜に紹介する予定であります。

税務会計研究（A）と税務会計研究（B）との関連性が深いため、（A）（B）通年での受講が望ましいと考えます。主に講義形式で行います。

主に講義形式で行い、必要に応じて各自からの報告などを行う予定である。

【授業の内容】

1. 給与
2. 交際費等
3. 販売促進費
4. 寄附金
5. 租税公課
6. 貸倒損失
7. 福利厚生費・その他の費用
8. 有価証券
9. 棚卸資産
10. 固定資産
11. 借地権
12. 繰延資産
13. 資産の評価損
14. 税額計算
15. 総括・税制改正を踏まえて

【評価方法】

講義での発言・取り組み等総合的に判断します。

《テキスト》

講義では、資料等を配布する予定です。